

平成30年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	小林 貴彦
	全体計画			経費区分	経常的経費	内線	3535
事務事業名	4241 市営住宅管理事業						
所 属	200200 まちづくり推進部・まちづくり課						
施 策	06033400 安心して快適な住環境の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	080501 土木費・住宅費・住宅管理費					
	事業	020000 市営住宅管理事業					
事業目的				事業概要・効果			
<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅の維持管理 				<ul style="list-style-type: none"> ・住宅に困窮する低所得者に対して低廉な家賃で住宅を賃貸し、市民生活の安全と社会福祉の増進を図るため、市営住宅の維持管理を行う。 			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・明渡し28戸、募集戸数30戸、申込者数44人 ・修繕件数186件 	<ul style="list-style-type: none"> ・明渡し30戸、募集戸数40戸、申込者数60人 ・修繕件数190件
平成29年度 実績	平成30年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・明渡し33戸、募集戸数31戸、申込者数48人 ・修繕件数140件 	<ul style="list-style-type: none"> ・明渡し30戸、募集戸数40戸、申込者数60人 ・修繕件数190件
平成31年度 予定	平成32年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・明渡し30戸、募集戸数40戸、申込者数60人 ・修繕件数190件 	<ul style="list-style-type: none"> ・明渡し30戸、募集戸数40戸、申込者数60人 ・修繕件数190件

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		19,697	20,319
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	17,029	20,319
一般財源		2,668	0
人員数(人)	正規職員	2.0	2.1
	嘱託職員	0.7	0.7
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	14,298.0	15,012.9
	嘱託職員	1,936.2	1,936.2
	臨時職員	0.0	0.0
	計	16,234.2	16,949.1
市民一人当たりの経費		0.7	0.7
総額		35,931.2	37,268.1

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	12,276	消耗品、燃料費、印刷製本、光熱水費、修繕料
13節 委託費	2,597	電算委託料、保守点検委託料、シルバー人材センター委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	4,824	報酬、旅費、役務費、使用料及び賃借料、原材料費、公課費

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	2,997	電算委託料、保守点検委託料、シルバー人材センター委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	17,322	報酬、旅費、役務費、使用料及び賃借料、原材料費、公課費

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	必要不可欠な業務であるが、来年度より管理業務の委託化を進められるよう準備を進めている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	住宅に困窮している市民の入居が図られ、課題解決に貢献できている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	効率を追求する事業ではないが、来年度より管理業務委託を進められるよう準備を進めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
施設の適正な維持・管理を行えた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）	次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）
総合評価コメント		2次評価コメント	
管理代行、指定管理による管理に移行を進める。		管理代行、指定管理による管理に移行を進める。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	